

令和2年11月12日
仙台管区気象台

仙台で初霜を観測

11月12日(木)、仙台管区気象台で初霜を観測しました。

平年より2日遅く(平年は、11月10日)、

昨年より3日遅い(昨年は、11月9日)観測です。

参考資料

1. 初霜とは

寒候期(秋から春に至る期間)の中で季節的な現象としての霜があった最初の日を言います。

2. 霜とは

大気中の水蒸気が昇華して、地面または地物に付着した氷の結晶。一般にうろこ状、針状、羽状または扇子状をしている。

3. これまでの観測記録

仙台管区気象台では1926年から観測を行っており、これまでの一番早い記録、一番遅い記録は以下の通りです。

一番早い記録(最早): 1944年10月3日(昭和19年)

一番遅い記録(最晩): 2004年12月3日(平成16年)

4. 観測方法

観測は露場もしくはその周辺において目視によって行い、「日」を単位としています。

本件に関する問い合わせ先: 観測課 平日 08:30-17:15 Tel 022-297-8106

Fax 022-291-5895